

「裏金許さない」、市民の怒りが自公を過半数割れに追い込む

選挙の結果が明らかとなり、日本共産党釧根地区委員長の村上和繁さんにお話を伺いました。

問 まず、読者のみなさんに一言いただけますか。

答 日本共産党にご支援いただいたみなさんに心からお礼を申し上げます。

自公が衆院の過半数を失ったこと。国民の厳しい審判が下されました。もうひとつ、日本共産党が議席を後退させ、北海道での比例議席の奪還ができなかったことです。みなさんの期待に応えられず申し訳ありません。

答 釧根でも、共産党は比例票を後退させましたね。

前回、はたやまさんは議席奪還まで全道で8千6百余り足りませんでした。これを超えるようと奮闘しましたが前回総選挙と比べ、釧根は3千3百票減らし、得票率も6.13%、1・9ポイント後退させました。全道の平均得票率を0・9ポイント下回っています。党の自力が大きく落ちていること、短期決戦に十分

対応できなかったことなどの問題もありますが、小選挙区候補、市長候補を擁立できなかったことが政治的にも、組織的にも瞬発力が発揮できない足かせになりました。ここが一番の反省点です。

この間の私たちの取り組みについて、みなさんからもたくさんのご意見を寄せていただき、来年の参議院選挙で得票・議席とも前進させるため原点に立ち返って力を尽くします。



問 市長選挙では蝦名市長が落選し、鶴間市長が誕生しましたね。

答 共産党は蝦名市政の唯一の野党として、鉄道高架反対、学校給食費無償化などを掲げて市長と厳しく対決してきました。蝦名市政への批判の高まりは、三つ巴で最下位で落選という結果にも表れています。

しかし、鶴間氏、笠井氏も、鉄道高架推進など、これまで

の自民党市政の延長線にいる人物です。これでは市政は変わりません。鶴間新市長とも共産党は正面から対決するところになるでしょう。

共産党の得票

比例代表選挙		
釧路市	4,917	6.70%
根室市	652	6.72%
釧路町	538	6.63%
厚岸町	251	6.06%
浜中町	117	3.87%
標茶町	335	8.99%
弟子屈町	138	3.78%
鶴居村	90	6.58%
白糠町	193	5.37%
別海町	400	5.88%
中標津町	328	3.40%
標津町	71	2.85%
羅臼町	55	2.59%
釧根	8,085	6.13%
北海道	169,799	7.09%

はたやま和也「かけある記」

二〇二四年十月二十八日



「じいじの時」そ地に足つけて

元衆議院議員 はたやま 和也

全道の党員や後援会員・サポーターのみなさんから力強いご支援をいただきながら、比例議席の奪還はかないませんでした。この紙上で感謝を述べることは公職選挙法の関係からできませんので、各地をまわってお話できればと思います。

何より「政治を変えたい」という国民の声が、自民党への厳しい審判となってあらわれました。裏金事件に続き、非公認とした候補の政党支部へ2000万円を支出していたことへの怒りは、日に日に広がっていききました。ここまで自民党を追い込んだのは、間違いなく「しんぶん赤旗」の力です。

学費を払えずに退学せざるを得なかった大学生、年金が減らされて生活苦を訴えた高齢者、医者も看護師も介護職員もバス運転手も足りないという地域の声――

――選挙期間に、何度も切実な声を聞きました。「頼みますよ」との期待に応えなかった。

国民の批判や強い願いの前に、自民党は押されっぱなしでした。石破首相も自民党総裁選で、選択的夫婦別姓や現行保険証の存続などを掲げざるを得ませんでした。日本被団協がノーベル平和賞を受賞し、核兵器廃絶への願いもさらに強まりました。世論を広げて新しい国会で実現へ、私も北海道でがんばります。

新しい国会議員は本当に国民の願いに応えられるのか、さらに厳しい目が向けられます。来夏の参院選まで1年もありません。こういう時こそ地に足つけて、日本共産党の政策や値打ちをこつこつと広げていく活動に力を尽くします。